を学ぶ

2025年度**産後ケアセミナ**

産婦人科医・助産師・小児科医 × 鍼灸師による学びと実技

妊娠・出産を終えた女性の身体に寄り添える治療者になるために 医療的視点と東洋医学の融合による産後ケアを一緒に学びましょう!



辻内 敬子 先生 全3回の鍼灸実技をご講義いただきます。

1986 年 湘南鍼灸マッサージ学校(現:湘南医療福祉専門学校)卒業。1992 年 せりえ鍼灸室 副院長(現職) 1997 年 日本女子大学家政学部 食物学科卒業。2009 年 神奈川県衛生看護専門学校 助産学科 非常勤講師(現職) 2011 年 明星大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 修了。2011 年 森ノ宮医療大学 医療技術学部 鍼灸学科 非常勤講師 (~2015 年度まで)

2025年11月9日®11:00~16:00 産婦人科医から学ぶ産後のケア×鍼灸実技 第1回

講義

産後は心身ともに不調が現れます。産後のサポートに必要な基礎知識をご講義いただきます。

目標:産後女性の安全な評価・施術の基礎を習得できる

・産後うつ傾向への鍼灸対応と医療連携の判断ができる・基本的な心身サポートの施術が行える

講師

笠井 靖代 先生

日本赤十字社医療センター第二産婦人科部長・日本周産期メンタルヘルス学会理事 産婦人科専門医、周産期(母体・胎児)専門医、臨床遺伝専門医、公認心理師

1988 年東京医科歯科大学卒業。三井記念病院、東大病院、日立総合病院などで臨床研修。 1996 年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。1997 年より 2000 年まで米国 New England Medical Center 留学。 2000 年より日本赤十字社医療センター勤務。専門は、周産期、出生前相談・遺伝カウンセリング、周産期メンタルヘルス、母乳育児支援



2026年1月11日®11:00~16:00 助産師から学ぶ産後のケア×鍼灸実技 第2回

講義

産後のママに一番身近な助産師の立場から、鍼灸師に知っておいて欲しい現状をご講義いただきます。

目標:授乳トラブルに対する鍼灸施術を実践できる

・骨盤回復と腰痛ケアを組み合わせた施術を習得・助産師との連携を意識した安全なケアができる

講師

いのうえ りつこ 井上 律子 先生 看護師・助産師・鍼灸師。青年海外協力隊 (フィリピン) での母子保健プロジェクト・ 看護大学勤務・産婦人科クリニック・思春期 / ピルユーザーの電話相談など。

鍼灸師免許取得後は、横浜のせりえ鍼灸室にて女性の鍼灸治療を学んでいる。 女性のライフサイクルに寄り添える専門職を目指し、無痛分娩・訪問看護・乳腺外科などの分野にも学びの職域を広げている。



2026年3月8日®11:00~16:00 小児科医から学ぶ母子のケア×鍼灸実技 第3回

講義

産後ケアには、ママだけでなくお子さんのケアも重要です。子どもの成長と発達、 母子の関係についてご講義いただきます。

目標:母子両方を視野に入れた施術と連携を学ぶ

・母体のマイナートラブル症状へのケア・ケーススタディ

講師

せき かずお 関和男先生 元横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター部長、臨床教授 (小児科医・新生児専門)

会場

全国鍼灸マッサージ協会日本橋事務所横会議室(東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 ニッケイビル3階)

対象者

協会会員のみ(定員15名) ※学生会員は本セミナー対象外となります

受講料

45,000円(15,000円/回) ※第1~3回まとめての支払い

※各回セミナー終了後に1時間程度のお茶会を開催します。ご都合の合う方はぜひご参加ください。

お申込みはこちら



